

暖房器具の取り扱いにご注意を！ - 火災を未然に防ぎましょう -

毎年、暖房器具による火災が発生しており、中でも、ストーブが原因となる火災が多くなっています。

これから暖房器具を使用する機会が増えます。火災を防ぐために、次の点に注意しましょう。

<ストーブを使用する時の注意点>

- ▶石油ストーブの燃料は灯油です。ガソリンは使用しないでください。
- ▶ストーブの近くに紙・衣類など燃えやすい物を置かないでください。また、ストーブの上で洗濯物を干さないでください。洗濯物が落下して、火災が発生するおそれがあります。
- ▶ストーブを使用するときは、こまめに換気を行ってください。換気が不足すると、灯油やガスが不完全燃焼して、一酸化炭素中

毒を起す原因になります。
▶地震などの揺れで転倒しないように、固定する必要のあるストーブはしっかり固定してください。

▶煙突がついているものは、指定の金具や支線などを使用して固定してください。

<給油時の注意点>

- ▶石油ストーブに給油する場合は、ストーブの火を消し、火が消えたことを確かめてから給油してください。
- ▶カートリッジタンク式の場合は、給油後、タンクのふたを確実に閉めてください。

<点火や消火の確認>

- ▶点火後は、炎の調節を行い、正常に燃焼していることを確認してください。
- ▶外出時や就寝時には、完全に消えていることを確認してください。

除雪のお願い

消火栓や防火水槽が雪に埋まると、消火用水の確保に時間がかかり、火災が広がり、被害が拡大してまいります。積雪時には消防署でも除雪作業を行っていますが、管内の消火栓などを全て除雪することはできません。お住まいの周辺で、雪に埋もれた消火栓などがあつた場合は、除雪にご協力をお願いします。

問 消防本部予防課
☎ 22-0337
FAX 22-9427



出初式の開催方法が変わります

令和6年から彦根市消防出初式の第2部会場（式典）の開催場所が、大手前保存用地（金亀町）から**ひこね市文化プラザ（野瀬町）**へ変更となります。ご観覧いただく際にはお間違えのないようお願いいたします。詳細については、令和6年1月号の広報ひこねでご確認いただけますようお願いいたします。



チケット情報

ひこね市文化プラザ

2024年3月2日(土) 15:00 エコーホール
【共催事業】彦根エコーオーケストラ
第25回記念 定期演奏会

【自由】【12月8日(金)9:00~販売開始】
一般3,500円 大学生以下1,500円 ※当日各500円増

小学生以上 親子室利用可

今年で25回を迎える彦根生まれのプロオーケストラによる定期演奏会。国内外で活躍する彦根にゆかりのある演奏家が集い、素敵な音楽を奏でます。

2024年3月9日(土) 14:00 グランドホール
~知らない人に笑われ続けて~
綾小路きみまろ
爆笑!!スーパーライブ2024

【指定】【12月9日(土)9:00~予約開始】友の会5,000円
【12月16日(土)9:00~予約開始】一般5,000円

18歳以上 託児あり(有料・要予約・未就学児)

中高年のアイドル、綾小路きみまろが再び彦根にやってくる!絶好調ノンストップトークで会場を笑いの渦に巻き込むこと間違いなし!

申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)
チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/
12月の休館日：4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)、29日(金)~31日(日)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

みずほ文化センター

2024年1月13日(土)14:00 多目的ホール
彦根亭 みずほ寄席
vol.51「新春落語まつり」

【指定】【好評発売中】 小学生以上 託児あり(有料・要予約)

一般 前売:1,500円 当日:1,800円
高校生以下 前売:1,000円 当日:1,200円

<出演>笑福亭晃瓶、笑福亭瓶吾、笑福亭呂好、笑福亭呂翔

「ほっかほかラジオ」でお馴染みの笑福亭晃瓶さん出演の新春落語会です。初笑い、ぜひみずほ寄席で!

2024年3月9日(土)14:00 多目的ホール
彦根亭 みずほ寄席 vol.52 弥生公演

【自由】【1月13日(土) 発売開始】 小学生以上 託児あり(有料・要予約)

前売500円 当日600円

お馴染みの松竹芸能の愉快的な面々が笑いを届けます。おおいに笑って春を呼び込みましょう!

申込・お問い合わせ先
みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00~17:00)

12月の休館日：5日(火)、12日(火)、19日(火)、26日(火)、29日(金)~31日(日)

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。



令和5年12月14日(木)~令和6年1月15日(月)
「龍一天翔る霊獣一」

龍は中国に起源を持つ想像上の霊獣です。日本では龍神として信仰されるとともに、めでたい存在としても尊ばれ、親しまれてきました。辰年にちなみ、龍を表わしたさまざまな作品を紹介します。

■スライドトーク
【日時】12月16日(土) 14:00~(30分程度)
【講師】当館学芸員
【場所】講堂
※無料(観覧料は別途必要)
※当日受付(先着50人、受付は13:30~)

▲龍虎図(部分)

■【休館日のお知らせ】11月7日(火)~12月13日(水)、12月25日(月)~同31日(日)

彦根城博物館の学芸員が、各自の研究テーマについて、日頃の研究成果を踏まえて解説します。

講座 私の研究 最新
「彦根藩領の湊と船 一船役所の機能を中心に」

彦根藩船役所は、藩領内の湊や船、漁業などの支配に当たっていました。その職掌・機能や湊の様相について、彦根藩の御水主(おんかこ)であった磯崎家に伝わった古文書などから考えます。

【日時】令和6年1月13日(土)14:00~15:30
【講師】当館学芸員 【場所】講堂
※資料代100円(観覧料は別途必要)
※当日受付(先着50人、受付は13:30~)

御指紙写并難船之
申上留等留書

龍の姿実はいろいろ

龍は古代中国に起源を持つ、想像上の霊獣です。台風、竜巻、雷、洪水などの恐ろしい自然の力の象徴として生まれたと考えられ、天地を行き来し、雨を降らせる霊力を持つとされてきました。中国では、優れた王の治世には龍が出現して国が繁栄するとされたことから、瑞祥の兆しとして崇拝され、さらに仏教にも採り入れられて、降雨を裁量する神・龍王としても広く信仰を集めました。

日本には、飛鳥時代、朝鮮半島を経由して、仏教をはじめとする文化とともに伝わりました。そして日本古来の信仰などと混じり合い、水を司る神である龍神として信仰され、また神秘的な力を有するめでたい存在としても広く親しまれてきました。現在でも、美術作品はもちろん、身の回りの至る所でその姿を見ることが出来ます。

私たちがよく知る龍の姿(写真①)は、角は鹿、頭は駱駝、胴体は蛇、鱗は魚、掌は虎、爪は鷹と、複数の動物を組み合わせたものです。このイメージは、中国・漢時代(紀元前202年~紀元後8年)に定まりました。逆巻く雲や激しい波とともに表されることが多く、これによって自在に空を翔け、雨をもたらす、龍の神秘的な力を表現しています。

一方で、これとは異なる姿の龍も存在します。例えば、胴が短く翼を持つ応龍(写真②)は、嵐を起すともされる特に力の強い龍です。また、水中に住むとされる雨龍(写真③)は、角が無く、一見して蛇のようですが、れっきとした龍の一種で、蛟とも称されます。中国の古典籍『述異記』に、「水に住む虺は500年で蛟(雨龍)となり、蛟は1000年で龍となり、龍は5000年で角龍となり、1000年で応龍となる」と記されるように、龍は年を経ることによって成長していき、考えられていました。通常の龍とは大きく異なる雨龍の姿は、じつは成長途中の龍の姿なのです。

この他にも、さまざまな龍が美術品の中に表されています。令和6年は辰年です。身の回りに龍が溢れるこの機会に、一風変わった姿の龍を探してみたいかがでしょうか。

彦根城博物館学芸員 茨木 恵美

写真の作品は、テーマ展「龍一天翔る霊獣一」で令和5年12月14日(木)~令和6年1月15日(月)の期間、展示します(12月25日(月)~同31日(日)は休館)。

彦根市では、点字および音声版広報ひこね(編集版)を発行しています。
問 障害福祉課 ☎ 27-9981 FAX 30-9231
▶外国語版(英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語)の広報ひこね(編集版)を発行しています。
問 人権政策課 ☎ 30-6113 FAX 24-8577
▶廃棄する場合には古紙回収に出してください。
▶広報ひこねは54,850部作成し、1部当たりの単価は17円(1円未満切り捨て)です。原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。



第327回